

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 08-154074
(43)Date of publication of application : 11.06.1996

(51)Int.CI. H04B 7/26
H04H 1/00
H04Q 7/38

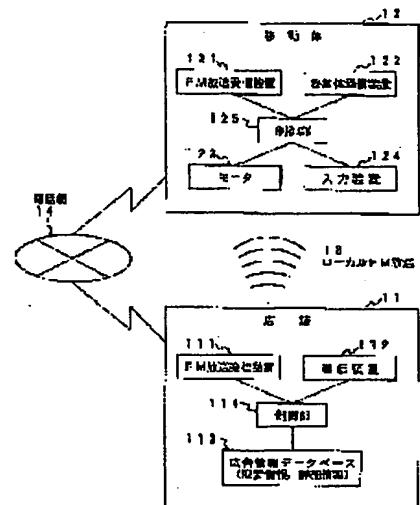
(21)Application number : 06-292698 (71)Applicant : NIPPON TELEGR & TELEPH CORP <NTT>
(22)Date of filing : 28.11.1994 (72)Inventor : TSUKADA SEIJI
SUZUKI TATSURO
KISHIDA KATSUMI
SAKAI KAZUO

(54) SELECTIVE INFORMATION COLLECTING SYSTEM AND METHOD THEREFOR

(57)Abstract:

PURPOSE: To efficiently acquire only the information which is effective in a specified area by the mobile object in the area by effectively making the most of time and network resources.

CONSTITUTION: A store 11 or an information center broadcasts outline information to a specified area by using a broadcasting means 13 whose reception range is limited. When the mobile object 12 receiving the outline information requires further detail information on the outline information, the object performs an access to the store 11 or the information center via a telephone network 14, etc., and takes out the detail information. By these means, a receiver is limited to the potential user of the specified area and an information transmission is performed by dividing the transmission into two stages of the broadcasting of the outline information and the communication of the detail information.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-154074

(43) 公開日 平成8年(1996)6月11日

(51) Int.Cl.⁶

識別記号 庁内整理番号

F I

技術表示箇所

H 04 B 7/26

H 04 H 1/00

G

H 04 Q 7/38

H 04 B 7/ 26

H

H 04 Q 7/ 04

D

審査請求 未請求 請求項の数 9 O L (全 11 頁)

(21) 出願番号

特願平6-292698

(22) 出願日

平成6年(1994)11月28日

(71) 出願人 000004226

日本電信電話株式会社

東京都新宿区西新宿三丁目19番2号

(72) 発明者 塚田 晴史

東京都千代田区内幸町1丁目1番6号 日

本電信電話株式会社内

(72) 発明者 鈴木 達郎

東京都千代田区内幸町1丁目1番6号 日

本電信電話株式会社内

(72) 発明者 岸田 克己

東京都千代田区内幸町1丁目1番6号 日

本電信電話株式会社内

(74) 代理人 弁理士 小笠原 吉義 (外1名)

最終頁に続く

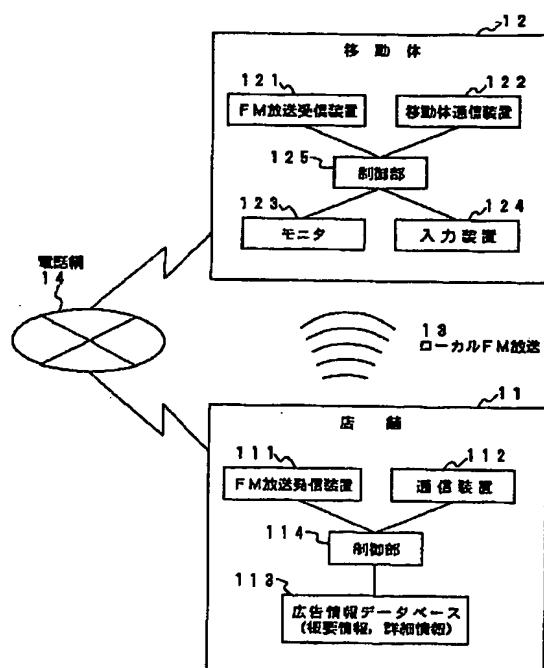
(54) 【発明の名称】 選択的情報収集システムおよび選択的情報収集方法

(57) 【要約】

【目的】 時間とネットワーク資源を有効に活用し、特定の地域にいる移動体がその地域で有効な情報だけを無駄なく取得できるようにすることを目的とする。

【構成】 店舗11または情報センタは受信範囲が限定された放送手段13を用いて特定の地域に概要情報を放送する。概要情報を受信した移動体12は、その概要情報についてさらに詳細な情報が必要な場合には、電話網14等を介して店舗11または情報センタにアクセスし詳細情報を取り出す。これらの手段により、受信者を特定の地域の潜在的利用者に制限するとともに、概要情報の放送と詳細情報の通信の二段階に分けた情報伝達を行う。

実施例1のシステム構成図



【特許請求の範囲】

【請求項1】 特定の地域に放送を行う第1のネットワークと、通信を行う第2のネットワークとの双方に接続された移動体が、個別情報源から情報を収集する選択的情報収集システムであって、前記個別情報源は、概要情報を蓄積する概要情報データベースと、詳細情報を蓄積する詳細情報データベースと、特定の地域に存在する移動体に前記第1のネットワークを通して概要情報を放送する放送手段と、前記第2のネットワークを通して前記移動体と通信する通信手段とを有し、前記移動体は、前記概要情報の放送を受信する受信手段と、受信した概要情報をユーザに表示する表示手段と、表示された概要情報の中からユーザの選択を入力する入力手段と、選択された概要情報に含まれるアドレス情報をを利用して前記第2のネットワークを通して前記個別情報源へアクセスする通信手段とを有し、個別情報源が特定の地域に存在する移動体に対し概要情報を放送し、次に移動体が概要情報をもとに前記通信手段を介して詳細情報を取得するという2段階に分けた情報伝達が行われるようにしたことを特徴とする選択的情報収集システム。

【請求項2】 特定の地域に放送を行う第1のネットワークと、通信を行う第2のネットワークとの双方に接続された移動体が、個別情報源または情報センタから情報を収集する選択的情報収集システムであって、前記情報センタは、複数の個別情報源から概要情報、または概要情報と詳細情報を集約する手段と、特定の地域に存在する移動体に対して前記第1のネットワークを通して概要情報をまとめて特定の地域に放送する放送手段と、前記第2のネットワークを通して個別情報源や移動体と通信する通信手段とを有し、前記移動体は、前記概要情報の放送を受信する受信手段と、受信した概要情報をユーザに表示する表示手段と、表示された概要情報の中からユーザの選択を入力する入力手段と、選択された概要情報に含まれるアドレス情報をを利用して前記第2のネットワークを通して個別情報源または情報センタへアクセスする通信手段とを有し、情報センタが特定の地域に存在する移動体に対し概要情報を放送し、次に移動体が概要情報をもとに前記通信手段を介して個別情報源または情報センタから詳細情報を取得するという2段階に分けた情報伝達が行われるようにしたことを特徴とする選択的情報収集システム。

【請求項3】 請求項1または請求項2記載の選択的情報収集システムにおいて、前記第1のネットワークと前記第2のネットワークとが、放送と通信の双方の機能を持つ1つのネットワークで構成され、1つのネットワーク上で概要情報の放送の受信と詳細情報の通信による取得が行われるようにしたことを特徴とする選択的情報収集システム。

【請求項4】 請求項1または請求項2記載の選択的情報収集システムにおいて、前記第1のネットワークと前

記第2のネットワークのいずれか一方または両方が、複数のネットワークを組み合わせたものによって構成され、前記移動体が、複数のネットワークの放送機能と通信機能とを用いることにより2段階に分けて情報を収集するようにしたことを特徴とする選択的情報収集システム。

【請求項5】 請求項1、請求項2、請求項3または請求項4記載の選択的情報収集システムにおいて、前記移動体は、ユーザが概要情報から詳細情報を取得するかを判断するための条件を設定する設定手段と、前記条件に基づき詳細情報を取得する概要情報を選択する選択手段とを有し、移動体が前記選択手段を介して自動的に選んだ概要情報に基づき個別情報源または情報センタから詳細情報を取得するようにしたことを特徴とする選択的情報収集システム。

【請求項6】 特定の地域に放送を行う第1のネットワークと、通信を行う第2のネットワークとの双方に接続された移動体が、個別情報源から情報を収集する選択的情報収集方法であって、個別情報源が特定の地域に存在する移動体に向けて第1のネットワークを通して概要情報を放送する第1のステップと、移動体が前記概要情報を受信する第2のステップと、前記第2のステップで受信した概要情報を、入力装置から入力したユーザの選択情報により選択する、またはユーザによりあらかじめ設定された条件により自動選択する第3のステップと、選択された概要情報に含まれるアドレス情報をを利用して第2のネットワークを通して個別情報源へアクセスする第4のステップと、前記移動体が前記個別情報源から第2のネットワークを通して詳細情報を取得する第5のステップとを有し、第1のネットワークを通して特定の地域に放送された概要情報をもとに、第2のネットワークを通して移動体が詳細情報を取りに行くことによって、2段階に分けて情報を収集することを特徴とする選択的情報収集方法。

【請求項7】 特定の地域に放送を行う第1のネットワークと、通信を行う第2のネットワークとの双方に接続された移動体が、個別情報源または情報センタから情報を収集する選択的情報収集方法であって、複数の個別情報源から概要情報、または概要情報と詳細情報を得て情報センタに集約する第1のステップと、情報センタが特定の地域に存在する移動体に向けて第1のネットワークを通して概要情報を集中的に放送する第2のステップと、移動体が前記概要情報を受信する第3のステップと、前記第3のステップで受信した概要情報を、入力装置から入力したユーザの選択情報により選択する、またはユーザによりあらかじめ設定された条件により自動選択する第4のステップと、選択された概要情報に含まれるアドレス情報をを利用して第2のネットワークを通して個別情報源または情報センタへアクセスする第5のステップと、前記移動体が前記個別情報源または前記情報セ

ンタから第2のネットワークを通して詳細情報を取得する第6のステップとを有し、情報センタが第1のネットワークを通して特定の地域に概要情報を集約して放送し、移動体は概要情報に含まれるアドレス情報を利用し個別情報源または情報センタにアクセスして詳細情報を取得することを特徴とする選択的情報収集方法。

【請求項8】 請求項6または請求項7記載の選択的情報収集方法において、前記放送を行う第1のネットワークと、前記通信を行う第2のネットワークとして、放送と通信の双方の機能を持つ1つのネットワークを用い、前記移動体は、1つのネットワークの上で概要情報の放送受信と詳細情報の通信による取得との2段階に分けて情報を収集することを特徴とする選択的情報収集方法。

【請求項9】 請求項6または請求項7記載の選択的情報収集方法において、前記放送を行う第1のネットワークと、前記通信を行う第2のネットワークのいずれか一方または両方を複数のネットワークを組み合わせて用いることにより、複数のネットワークの放送機能と通信機能を利用して概要情報の放送受信と詳細情報の通信による取得との2段階に分けた情報収集を行うことを特徴とする選択的情報収集方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、特定の地域で価値を持つ情報を、通信機能付き携帯情報機器を持ち歩く人や、移動電話と携帯端末を積んだ車からアクセスする情報収集システムに関するものである。例えば広告主が店の近くにいる潜在的な利用者に広告を流す場合などに適用することができる。

【0002】情報提供者からの観点からは、ある特定の地域にいる潜在的な利用者にのみ概要情報を流し、利用者の観点からは自分のいる場所に応じて有効な概要情報が届けられ、その中で必要と判断したものについてだけ詳細情報を取りに行くので、双方に効率的な情報収集を行うことができる。

【0003】

【従来の技術】従来の放送や通信を利用した広告情報の伝達手段は、ユーザから店にアクセスして情報を取り出すか、店から全てのユーザに一律に放送するかのどちらかであった。

【0004】しかしどちらの方法でも、情報の内容と送り先とを効果的に絞って伝えるためには問題がある。まず、ユーザから店にアクセスする場合には、どこにどのような情報が存在して、それを入手するにはどこにアクセスすればよいかを、ユーザが前もって何らかの方法で知っている必要がある。そのためには一般にガイドや雑誌などが用いられるが、レストランの今日のお勧めメニューといった特定の地域や時間で価値を持つような情報を、前もって全て用意しておくのは困難である。

【0005】次に、店から全ての情報を放送する場合で

は、全国一律の放送を行うのではユーザは不要なものを含めて全ての情報を受け取ることになり、情報のノイズに埋もれることになる。また移動中に情報を受け取る場合には、ネットワークの容量が限られるので、全ての店が全ての情報を発信することは困難である。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】本発明の目的は、上記の従来技術の問題を解決し、時間とネットワークを有効に活用して移動体が必要な情報だけを取得することができるシステムおよび方法を提供することである。

【0007】

【課題を解決するための手段】本発明は、まず受信エリアが限られた放送メディアを用いて特定の地域に概要情報を放送することにより、受け手を潜在的な利用者に絞る手段を持つこと、また、放送の内容を、情報の種類、概要、詳細情報へのアクセス方法など、ユーザが有効性を判断するために必要な最小限に制限して放送する手段を持つこと、概要情報の放送を受け取ったユーザがそれをもとに詳細情報を取得するかどうかを判断して、個別情報源にアクセスする手段を持つことを主要な特徴とする。

【0008】従来の移動端末から個別情報源へ、もしくはその逆のいずれかの一方的な情報の流れに対して、本発明では、概要情報の放送と詳細情報の通信の2段階に分けた情報伝達を行う点と、受信エリアが限られた放送手段を利用することによって、受信者を潜在的利用者に制限する点が異なる。

【0009】

【作用】本発明は情報伝達を2段階に分けて行うこと、ユーザは欲しい情報がどこにあるかを前もって知っている必要がなくなる。また、ユーザが無駄な情報を大量に受け取ることによって必要な情報が埋まってしまうことを避けられるので、個別情報源とユーザの双方に効果的な広告等を行うことが可能になる。

【0010】また、ある地域でのみ有効な情報を、その情報が有効な範囲に対してのみ流すことで、ネットワーク資源の有効利用になる。

【0011】

【実施例】

【実施例1のシステム構成の説明】図1は、本発明の第1の実施例のシステム構成図である。以後これを実施例1と呼ぶ。

【0012】実施例1では、放送のための第1のネットワーク=ローカルFM放送、通信のための第2のネットワーク=公衆電話網、をそれぞれ想定している。

【0013】図1において、11は広告を発信する店舗、12は広告を受け取ることができる移動体、13は概要情報を放送するローカルFM放送用インフラ、14は移動体電話を含む公衆電話網のインフラを表している。

【0014】店舗11は、ローカルFM放送を行うFM放送発信装置111、電話網による通信を行う通信装置112、概要情報と詳細情報の2種類の広告情報を保存する広告情報データベース113、以上3つの装置を管理する制御部114を構成要素に持つ。

【0015】移動体12は、FM放送を受信するFM放送受信装置121、移動体通信装置122、受信した広告情報を表示するモニタ123、ドライバからの指示を入力する入力装置124、以上4つの装置を管理する制御部125を構成要素に持つ。

【0016】図2(A)は実施例1のシステム構成の概要を示す図、図2(B)はローカルFMの効果を示す図である。店舗11からローカルFM放送により広告情報の概要情報が放送される。ローカルFM放送は送信出力が小さいので、受信エリアが制限される。従って、店舗11のそばにいる潜在的な利用者だけが、この放送を受け取ることができる。図2(B)では店舗11からの放送を、近くにいる移動体12aだけが受けられて、遠くの移動体12bは受け取ることができない。これを利用し、以下に説明するようなサービスを実現する。

【0017】[サービスの概要] 実施例1による処理およびサービスの概要を図3に基づいて説明する。ここでは提供される情報の例として、レストラン情報を想定している。レストランの情報、特に「今日のお勧めメニュー」のような情報は、特定の時間と場所にいるものにだけ価値がある。そこで、店から到達範囲が限られたローカルFM放送で広告を流すことで、情報受信者をレストランに来る可能性のあるものに限る。

【0018】(1) 移動体は、これから食事をしたいと思った時にシステムの受信モードをONにする。

(2) 受け取る情報の分類(この場合は“食事”)と詳細のカテゴリ(例えば“中華”)を指定する。

【0019】(3) レストランは自分の店の概要情報をローカルFMを使って放送する。

(4) 移動体の受信システムはローカルFMの帯域をサーチして、レストラン情報を探索する。

【0020】(5) 受信システムはレストラン情報を見つけたら、種別情報を取り出して、それが中華であればモニタに表示する。

(6) ドライバは表示された概要情報を見て、詳細情報が欲しい場合にはシステムに指示する。

【0021】(7) ドライバの指示があれば、概要情報から店の電話番号を取り出し、携帯電話を介して店舗(レストラン)にアクセスする。

(8) レストランは、移動体からの要求があるとレストランの詳細情報を電話回線を介して伝える。

【0022】(9) 移動体は詳細情報を受け取るとドライバに表示する。

[情報形式] 図4は概要情報の形式の例を示す図である。

【0023】概要情報はタグとコンテンツのペアの集合で表現される。この例における概要情報はサービス名を示す「分類」、分類の詳細を示す「カテゴリ」、店の名前である「店舗名」、店の「場所」、店の電話番号である「アドレス情報」、簡単な店の「特色」の情報群から構成される。

【0024】提供情報としてレストラン情報を想定した図4の例では、分類は「食事」であり、カテゴリは「中華」、店舗名は「〇〇軒」、場所は所定の区画、座標または住所などの情報、アドレス情報は電話番号、特色は今日のお勧めメニューなどの情報である。

【0025】図5は詳細情報の形式の例を示す図である。詳細情報も概要情報と同様にタグとコンテンツのペアの集合で表現される。この例における詳細情報は、店の「メニュー」、「席」の数、「予約」ができるかどうか、「駐車場」の台数から構成される。

【0026】図4または図5で示した概要情報、詳細情報のタグは1つの例である。サービスの種類や通信路のキャパシティに応じて、他の情報を加えたり、ここで挙げたものの一部を省略したりすることはもちろん可能であり、様々なバリエーションが考えられる。

【0027】図6は概要情報の表示の例を示す図である。図6(A)は移動体が車であって、その車がナビゲーション・システムを持っているときに、ナビゲーション・システムが持っている地図を利用して、地図上にレストランを表示した例を示している。また、図6(B)はこうした地図がないときに、文字だけで概要情報を表示した例を示している。

【0028】[実施例2のシステム構成の説明] 図7は第2の実施例のシステム構成の概要を示す図である。以後これを実施例2と呼ぶ。実施例2は、情報センタを作り各店舗から広告情報を集めてまとめて放送する例である。店舗から概要情報だけを登録する場合と、概要情報と詳細情報との両方を登録する場合とがある。

【0029】図7において、21は店舗であり、22は店舗21から概要情報を登録する情報センタ、23は概要情報を放送するローカルFM放送用インフラ、24は広告を受け取る移動体、25は移動体電話を含む公衆電話網のインフラをそれぞれ表している。

【0030】実施例1と比較すると、実施例2の場合には、各店舗21はFM放送のための設備を持つ必要がなくなる。一方、移動体24からは、FM放送の発信者が店舗21であっても情報センタ22であっても、サービスを利用するため必要な設備を変更する必要はない。

【0031】[サービスの概要] 実施例2におけるサービスを移動体24側から見たときは、実施例1と全く同じである。店舗21から見ると、サービスを開始するときに情報センタ22に広告情報を送る点が異なる。図8は実施例2による処理およびサービスの概要を示す図である。図8をもとに、主に実施例1と違う部分について

実施例2の概要を説明する。

【0032】(1) レストランは、電話回線を通して情報センタにアクセスする。

(2) 情報センタに店の概要情報、もしくは概要情報と詳細情報を登録する。概要情報だけ登録したときには、アドレス情報としてレストランの電話番号を登録する。詳細情報も登録したときには、アドレス情報として情報センタの電話番号を登録する。

【0033】(3) 情報センタは、ローカルFMを使い概要情報を放送する。

(4) 移動体は、概要情報を受け取り詳細情報を取りに行くと判断したときは、アドレス情報に示された番号に電話する。このときに、相手がレストランか情報センタかは意識する必要はない。

【0034】(5) レストランまたは情報センタは、移動体からの要求があるとレストランの広告詳細情報を発信する。

【実施例3のシステム構成の説明】図9は、本発明の第3の実施例のシステム構成の概要を示す図、図10は光ピーコンの効果を説明する図である。以後これを実施例3と呼ぶ。

【0035】ネットワークは必ずしもローカルFM放送と電話網の組み合わせである必要はない。実施例3は、放送のための第1のネットワーク=片方向ピーコン、通信のための第2のネットワーク=公衆電話網、の組み合わせの例である。

【0036】図9および図10において、31は店舗であり、32は店舗31から広告情報を登録する情報センタである。概要情報は情報センタ32からピーコンシステムを介して、ピーコン送信装置33の下を通る移動体34に伝えられる。35は移動体電話を含む公衆電話網のインフラ、36はピーコン受信装置である。

【0037】実施例1、実施例2と比較すると、実施例3の場合、各店舗31からは違いが見えないが、移動体34はピーコン受信装置36を備える必要が生じる。ローカルFMと比較した時の光ピーコンの特性として、放送を受信できるエリアが極めて狭いことがある。すなわち、光ピーコン発信器の真下を通る車のみに情報を伝えることができる。これを利用して、図10では車(移動体34)の進行方向にある店舗31の広告を、店舗31の少し手前のピーコン送信装置33で流している。また高速道路から下りる料金所で、そのインターチェンジから行ける観光地にある店の情報を流すというように、ある地域にいる人に有効な情報を選んで放送することができる。

【0038】【実施例4のシステム構成の説明】図11は、本発明の第4の実施例のシステム構成の概要を示す図である。以後これを実施例4と呼ぶ。

【0039】実施例4は、複数のネットワークを組み合わせる例で、以下のような構成になっている。放送のた

めの第1のネットワーク=双方向ピーコン、通信のための第2のネットワーク=双方向ピーコン+公衆電話網。

【0040】図11において、41は店舗、42は店舗41から広告情報を登録する情報センタである。この例では、情報センタ42とは別にピーコンセンタ44が設けられている。概要情報は、情報センタ42から電話網43を通してピーコンセンタ44に送られ、ピーコンセンタ44からピーコン送受信装置45を介して移動体46に届けられる。

【0041】概要情報を受け取った移動体46が詳細情報にアクセスするときには、移動体46からピーコンを送り、ピーコン送受信装置45が受け取ってピーコンセンタ44に転送する。ピーコンセンタ44から店舗41ないし情報センタ42へは、電話網43を通して詳細情報のデータベースにアクセスして、その結果をまたピーコン送受信装置45で移動体46に送る。

【0042】これまでの3つの実施例と比較すると、実施例4の場合には、移動体46が必要とする通信装置と受信装置が、ピーコン用だけですむ点がメリットになっている。

【0043】利用可能なネットワークは、ここに挙げたもの以外にも多くある。例えば衛星、ページャ、テレマニアル、FM多重など各種ネットワークを利用することができる。

【0044】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば「地域を限定した概要情報の放送」と「詳細情報の取得」との2段階に分けて情報アクセスを行うことで、以下の効果を得ることができる。

【0045】(1) 特定の地域で価値のある情報に対して、概要情報の受信者を放送の到達範囲に存在する潜在的なユーザに制限することで、情報提供者、ユーザの双方にとって計算機資源とネットワーク資源の節約になる。

【0046】(2) ユーザは欲しい情報がどこにあるかを前もって知っている必要がなくなる。また、地域を移動するたびにその場所で有効な情報を受け取ることができる。これにより、無駄な情報をたくさん受け取り、必要な情報が埋もれてしまうことを避けることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】実施例1のシステム構成図である。

【図2】実施例1のシステム構成の概略とローカルFMの効果を説明する図である。

【図3】実施例1の処理の流れを示す図である。

【図4】概要情報の形式の例を示す図である。

【図5】詳細情報の形式の例を示す図である。

【図6】概要情報の表示の例を示す図である。

【図7】実施例2のシステム構成の概略を示す図である。

【図8】実施例2の処理の流れを示す図である。

【図9】実施例3のシステム構成の概略を示す図である。

【図10】光ピーコンの効果を示す図である。

【図11】実施例4のシステム構成の概略を示す図である。

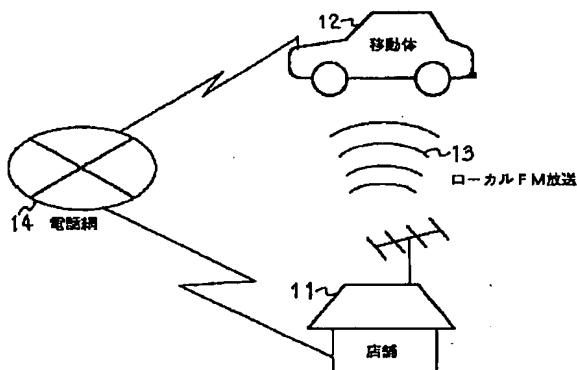
【符号の説明】

- 1 1 店舗
- 1 1 1 FM放送発信装置
- 1 1 2 通信装置
- 1 1 3 広告情報データベース
- 1 1 4 制御部
- 1 2 移動体
- 1 2 1 FM放送受信装置
- 1 2 2 移動体通信装置
- 1 2 3 モニタ
- 1 2 4 入力装置
- 1 2 5 制御部
- 1 3 ローカルFM放送用インフラ

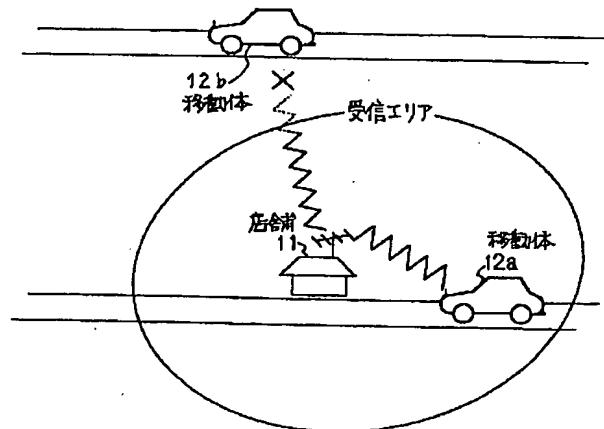
- 1 4 公衆電話網のインフラ
- 2 1 店舗
- 2 2 情報センタ
- 2 3 ローカルFM放送用インフラ
- 2 4 移動体
- 2 5 公衆電話網のインフラ
- 3 1 店舗
- 3 2 情報センタ
- 3 3 ピーコン送信装置
- 3 4 移動体
- 3 5 公衆電話網のインフラ
- 3 6 ピーコン受信装置
- 4 1 店舗
- 4 2 情報センタ
- 4 3 公衆電話網のインフラ
- 4 4 ピーコンセンタ
- 4 5 ピーコン送受信装置
- 4 6 移動体

【図2】

(A) 実施例1のシステム構成の概略



(B) ローカルFMの効果



【図4】

概要情報の形式

分類	食事
カテゴリ	中華
店舗名	○○軒
場所	E.141.23, N.34.56
アドレス情報	△△-△△△△△
特色	今日のランチ XXX

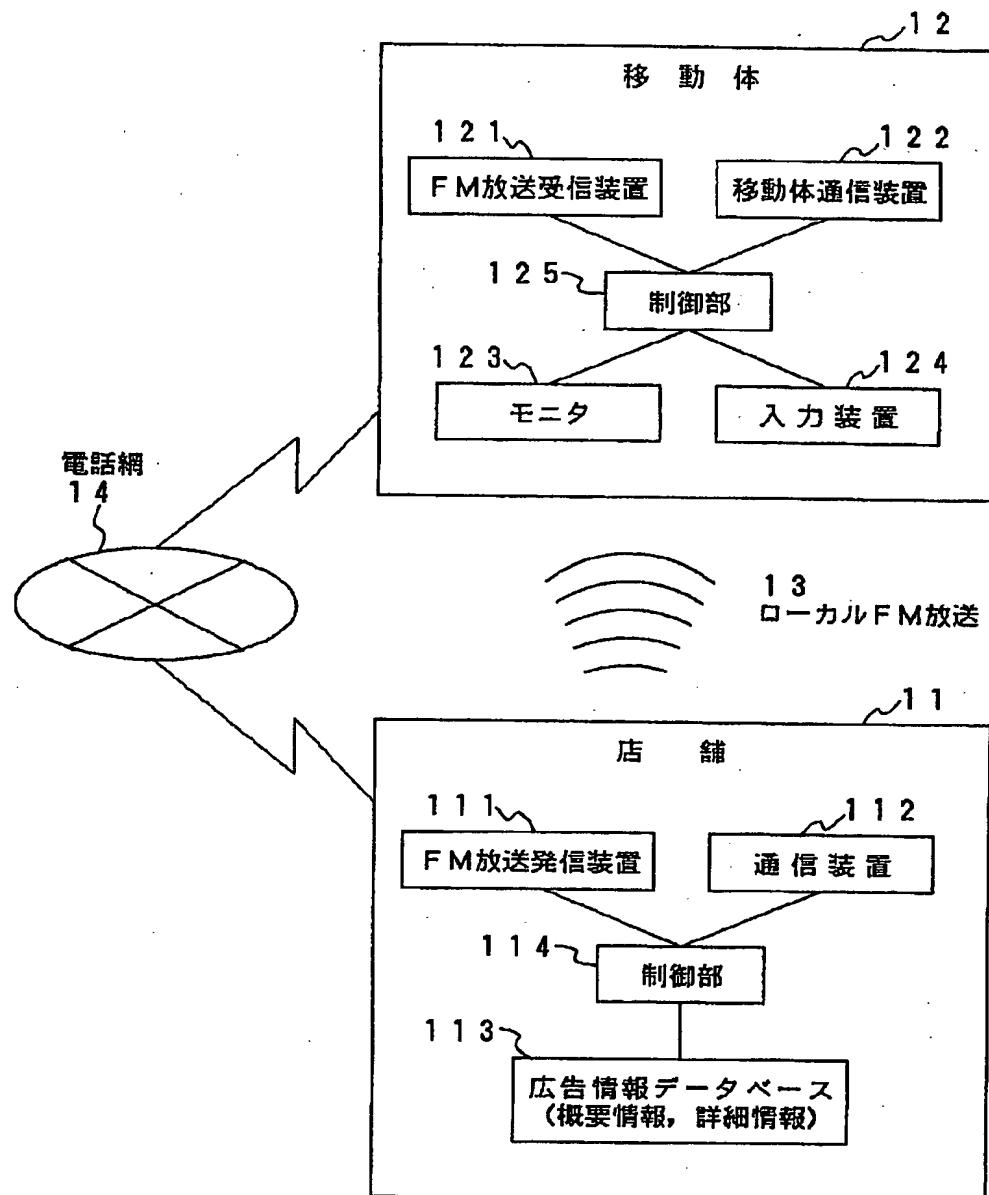
【図5】

詳細情報の形式

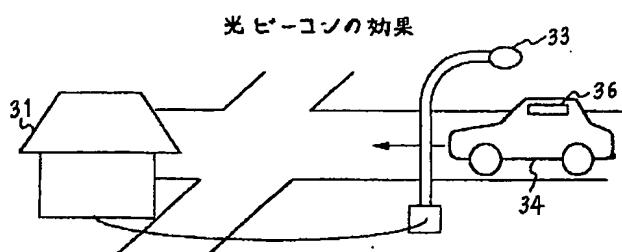
メニュー	ランチ. 600円, 中華丼. 800円, 野菜炒め. 750円, . . .
席	40席
予約	可能
駐車場	20台

【図1】

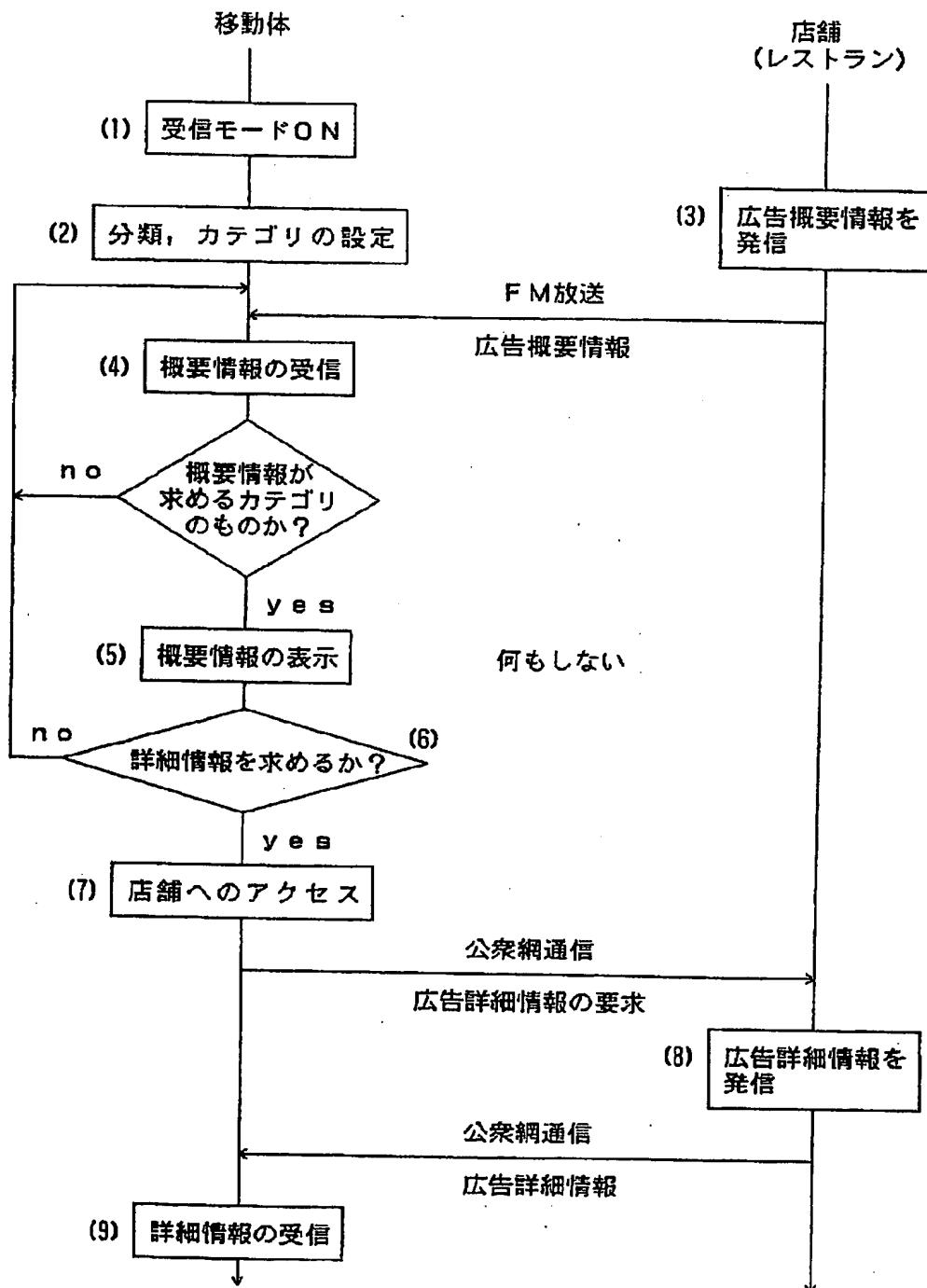
実施例1のシステム構成図



【図10】

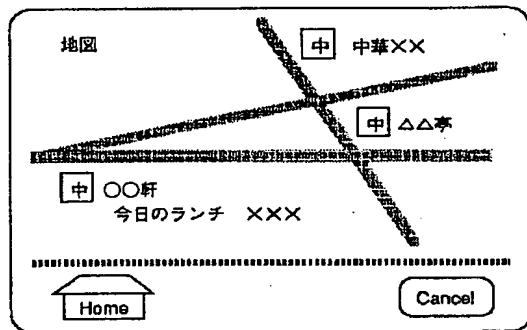


【図3】



【図6】

概要情報の表示
(A) 地図を用いる場合

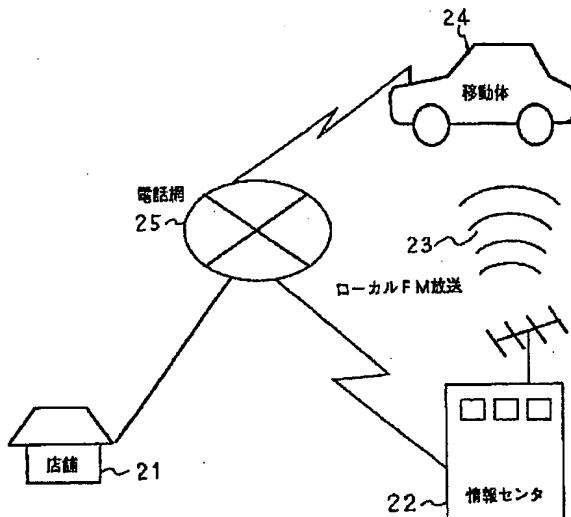


(B) 文字だけの場合

カテゴリ	店舗名	特色
中華	OO軒	今日のランチ XXX
中華	△△亭	お勧め 中華丼
中華	中華XX	本場の味です

【図7】

実施例2のシステム構成の概略

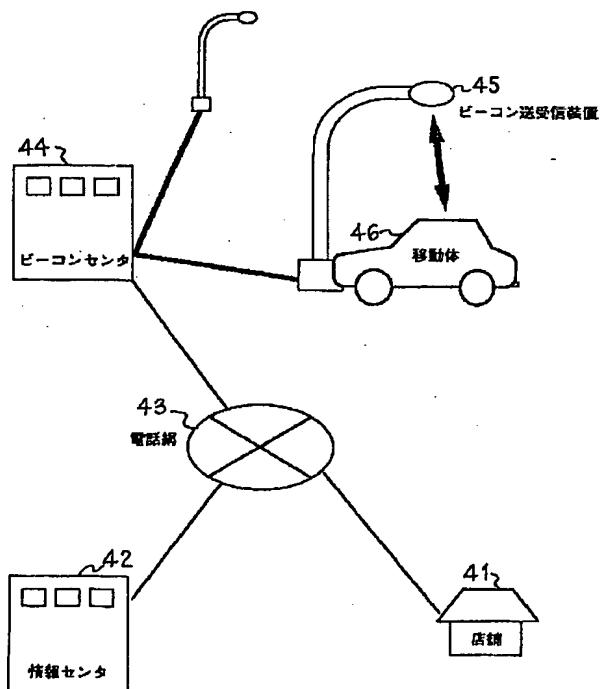
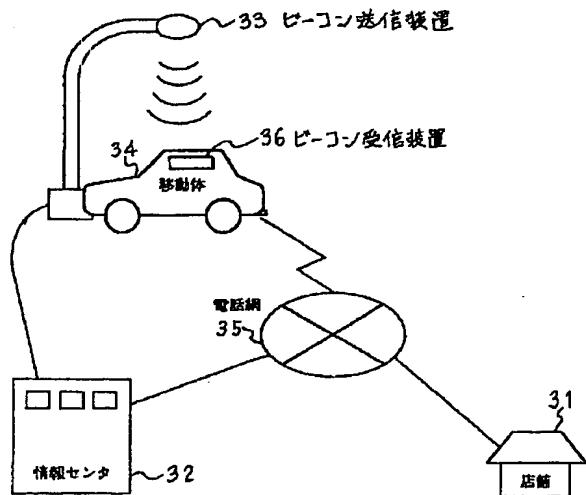


【図11】

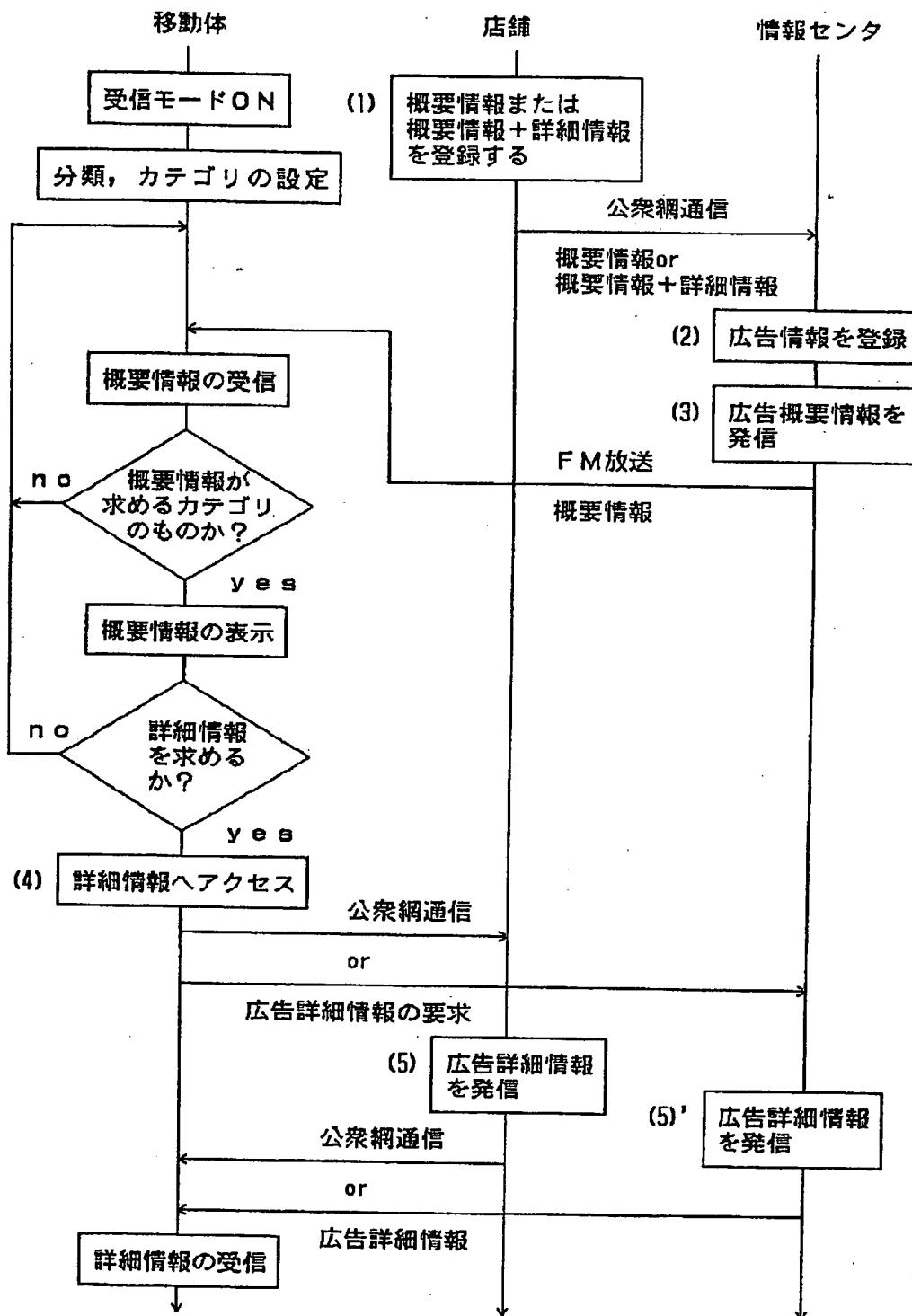
実施例4のシステム構成の概略

【図9】

実施例3のシステム構成の概略



【図8】



フロントページの続き

(72) 発明者 酒井 和男
東京都千代田区内幸町1丁目1番6号 日
本電信電話株式会社内